

東北Now① 請戸漁港に船が戻ってきた



朝日新聞社

請戸は、すけさきた 58 号でご紹介した「田植え踊り」の伝わる地区です。浪江町では今春、原発事故の避難指示が一部を除き解除される見通しがたったため、2月19日に福島市の笹谷東部仮設住宅で「仮設での最後の踊り」が披露されました。しかしすぐにもとの土地で祭礼を再開することは難しく、来年以降は災害公営住宅などでの開催を検討することです(河北新報ほか)。

「まだまだ俺の海ではないが漁師に戻る一歩だ。」
3代目漁師の高野一郎さん(69)の顔が少しほころんだ。(朝日新聞・本田雅和)

震災後、船は22キロ北の真野川漁港に避難。海底のれき処理や試験操業で帰港に備えた。

「またまた俺の海ではないが漁師に戻る一歩だ。」
3代目漁師の高野一郎さん(69)の顔が少しほころんだ。(朝日新聞・本田雅和)

we support!

RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
かめぼし

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

MARCH
11
2017

東北Now② 東北風土マラソン & フェスティバル2017



東北各地の特産物グルメを「走りながら美味しく食べる」を提供してきた東北風土マラソン。今年は3月18日〜20日の開催です。フル、ハーフ、リレーマラソンに加え、今回から新たな種目「5km」「親子ラン」も増設されました。

今年のコスチュームテーマは「物語と伝説」。

お楽しみ品の『ランメシ(補給食)』も20品目が出揃って準備万端です。

元気を出すために、楽しくなるために、みんなが少しずつ持ち寄って盛り上げるマラソン大会。好天とご盛会をお祈りいたします。

金のおさんま、ふかひれ濃縮スープ、豊米産牛サイコロステーキ、はっと汁、特製笹かまぼこ、荳胡麻チョコ、わかめ餃子、最上の早生そば、いぶりがっこ、伊豆産ブルーベリーチーズケーキ、初恋さくら(甘酒)、ほんのりピーチ、...

昨日、ちょうど自衛隊の方と話していた。震災時は、最前線で活躍されてたんですね〜とお話したら

あの時は自衛隊、警察ももちろんですがどの方達も市民自ら動いてくれていました。特に被災地に自衛隊が入る前に、普段は交通整備のお仕事をされている方が自ら交通整備をされていて自衛隊を通すためにビビ〜つと他の車を停めて通してくれたり

地元の消防団の方達も、自分達で捜索活動をしてここまででは終わりました! という報告をして頂いたり。

あの時は、市民のみなさんが本当に輝いていました。というお話をしていました。

自分ができることを自ら動くということ、改めて感じさせられたお話でした。

また震災の節目を迎えますねー。暖かい日を迎えられるといいな。

(寄稿)

MOKの東北MEMORIES

＜MOK、2016年東北風土マラソンレポ以来の登場!＞
震災を機に石垣からふるさと宮城県に戻り、すけさきたに東北復興の便りを寄せてくれる、花と音楽を愛するタイ式マッサージセラピスト。「今年はマッサージセラピストとして参加します。ランナーさん走ってる間はフリータイムなのでフードブースを食べ歩きするつもりです。」

編集:朝日新聞デジタル、河北新報、東北風土マラソン&フェスティバル2017公式HP